

イカナゴしんこ漁況予報（2026年）

2026年2月24日

（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター

◎水温（図1）

水温の高低は、イカナゴ親魚の産卵時期（水温低下が産卵の引き金となる）や、ふ化した仔魚の成長（水温が高い方が成長が速い）、生き残り率（低水温の方が良い）などに影響を与える。今期の水温は12月から1月中旬にかけて平年より高めで推移した後、平年より低めに転じている。気象庁は2月中旬以降の気温を高めと予測しており、2月の水温は平年並みから高めで推移すると考えられる。

◎季節風（図2）

季節風（特に西風成分）は、播磨灘から大阪湾に向かう海流を強め、イカナゴ仔魚の大阪湾への流入量を増大させる。また、仔魚の散らばりを促進することによって、生き残りにプラスに働く。今冬の西風は、12月下旬以降平年並みから平年よりも強い日が続いていた。

◎産卵量および産卵期

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センターは、大阪湾で漁獲されるイカナゴの主な産卵場である播磨灘鹿ノ瀬海域で産卵親魚の調査を行っている。その結果によると、今期の鹿ノ瀬海域での産卵量指数は平年（1986年～2023年の平均値）と比べると約0.05倍であり、不漁が続く近年同様低い値であった。親魚の成熟状況等から、今期の産卵盛期は昨シーズン（12月21日～1月6日）よりやや遅い12月26日から1月6日と推定されている。

◎仔魚の出現状況（図3, 4）

大阪湾内に設けた12の調査点において、プランクトンネット（ボンゴネット、斜め曳き）によるイカナゴ仔魚採集調査を3回実施した。

第1回調査は1月6、7日に実施した。仔魚の採集数は1点あたり4.1尾、平均全長は3.7mmであった。明石海峡周辺を中心に採集された。

第2回調査は1月19日に実施した。仔魚の採集数は1点あたり1.3尾、平均全長は7.6mmであった。明石海峡周辺から大阪湾西部海域を中心に広い範囲で採集された。

第3回調査は2月3、6日に実施した。仔魚の採集数は1点あたり0.5尾、平均全長は19.4mmであった。採集数はわずかであったが、過去に例を見ない全長20mm以上の大型個体を主体に採集された。

12月下旬以降は平年並みから平年よりも西風が強い日が続いていることから、播磨灘から大阪湾への流入が促進される状況であったと推察される。採集数は1回目調査では昨年よりも多かったものの、2回目調査以降は昨年とほぼ同程度となった。3回目調査では局所的に採集数が多い地点もみられたが、全体としては昨年同様極めて少ない資源量であると考えられる。3回目調査では全長20mmを超える大型の個体を中心に採集されており、仔魚の成長が過去よりも速い可能性がある。

◎イカナゴしんこの漁況見通し

今期の鹿ノ瀬における産卵量は、不漁が続いている近年同様に低い値になっている。環境条件をみると、水温は1月中旬以降、平年並みから低めで推移している。西風は1月下旬以降平年並みから平年を上回る日が続いている。つまり、イカナゴ仔魚の生残には好適な環境であり、播磨灘から大阪湾への流入が促進される状況であったと推察される。

これらのことから総合的に判断すると、今年の大阪湾のイカナゴ漁開始時におけるしんこの資源量は**昨年並みと予測され、不漁が続いている近年中でも最低レベルであると考えられる。**また、**2月下旬～3月上旬時点でのしんこの大きさは、昨年よりも大きいと予測される。**

大阪湾で自主休漁となった2024年、2025年漁期と同水準の資源量が予想され、極めて危機的な状況であるといえる。今後のイカナゴ資源回復のためには親魚となる資源を最大限残すことを重視した取組が必要である。

図1 大阪湾口部の水温変化

水産技術センター地先(水深約3m)、午前9時の水温
 平年値は、1992年～2025年の平均値

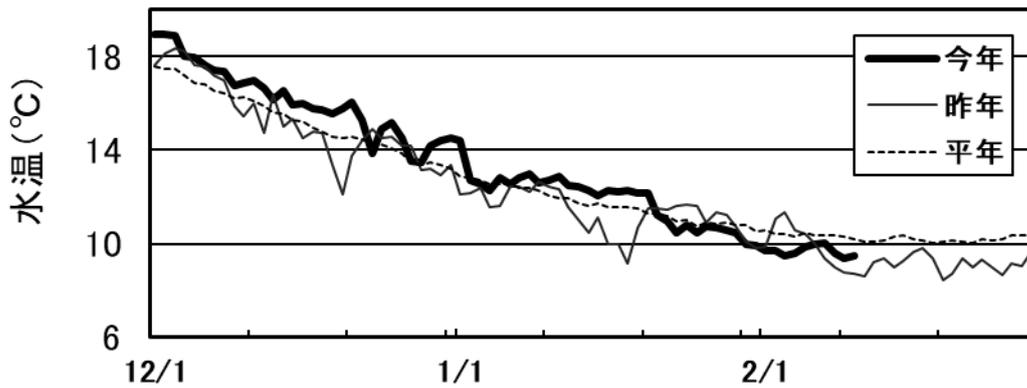


図2 西風成分の平年偏差

水産技術センター一定置観測、旬平均値
 平年値は、1981年～2025年の平均値

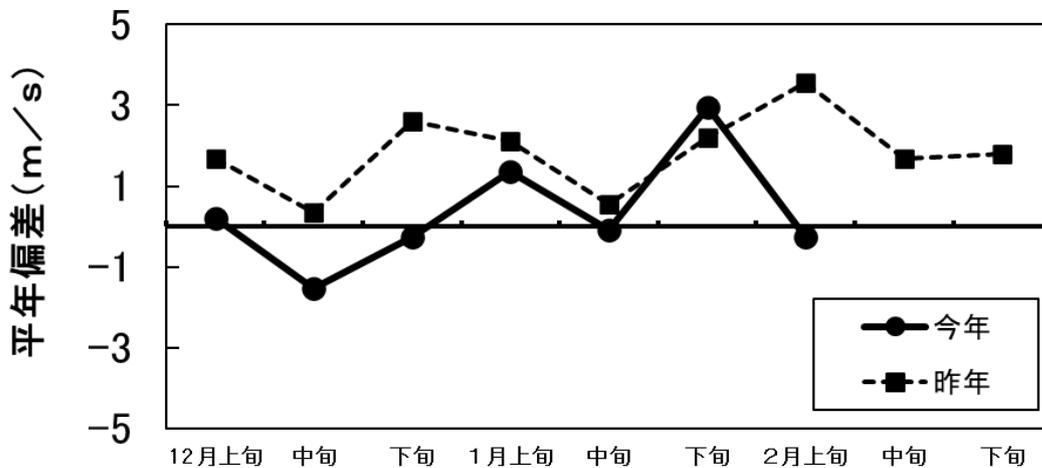
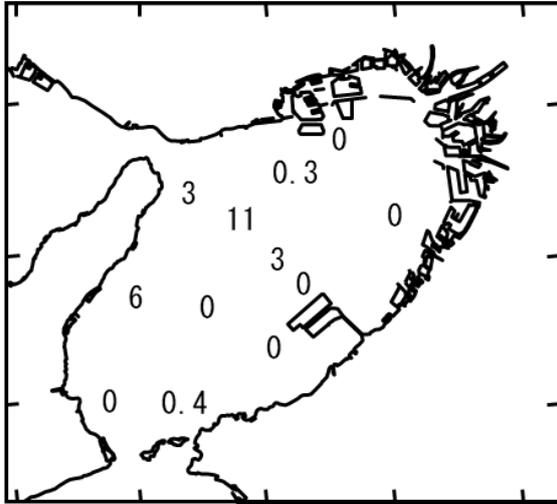
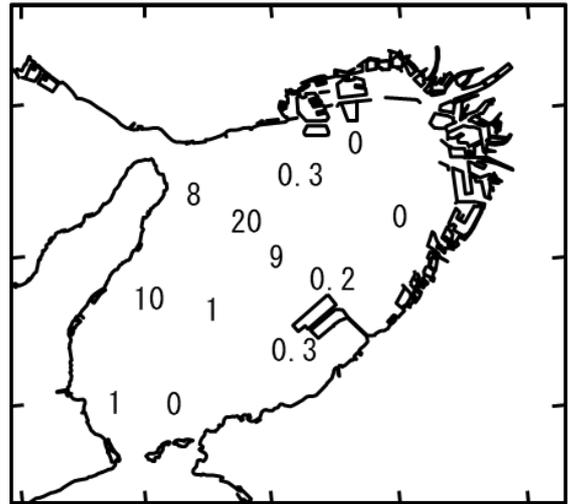


図3 イカナゴ仔魚の採集数

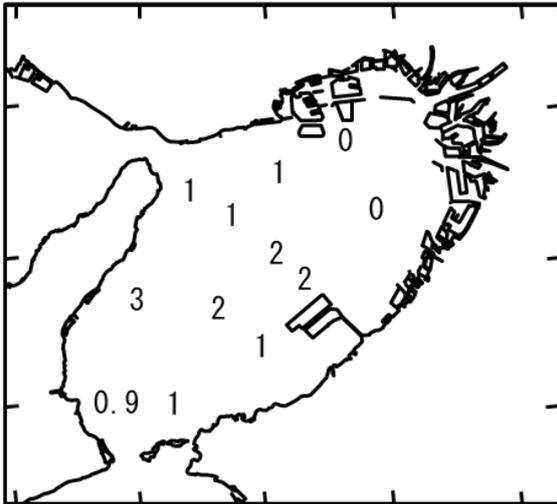
ボンゴネット斜め曳きによる、面積1平方mの水柱あたりの尾数



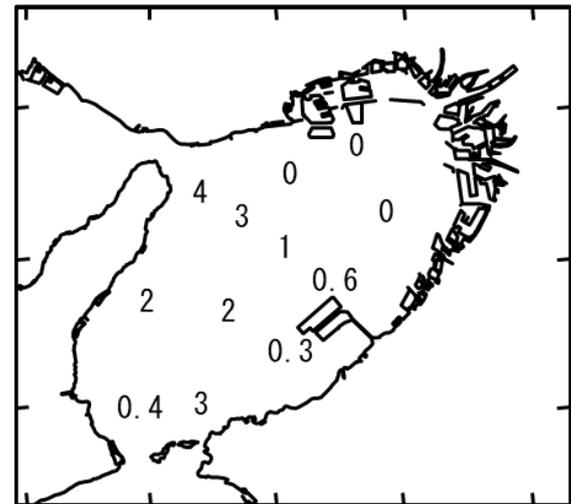
昨年1月6日 1点平均 1.9尾



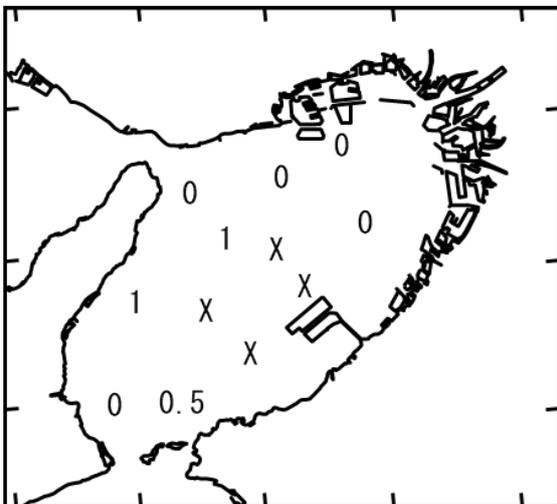
今年1月6,7日 1点平均 4.1尾



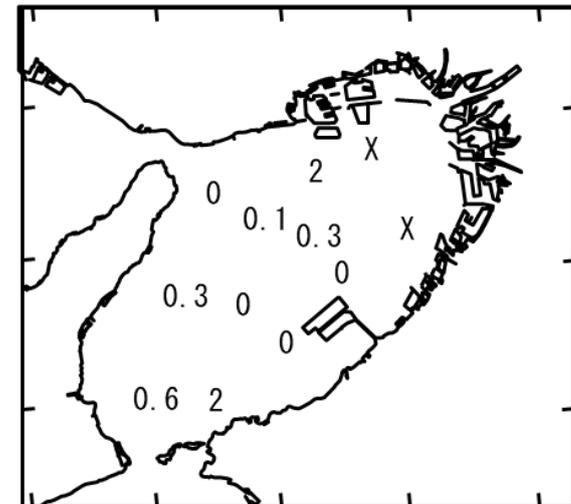
昨年1月20日 1点平均 1.4尾



今年1月19日 1点平均 1.3尾



昨年1月31日 1点平均 0.3尾
Xは欠測を示す



今年2月3,6日 1点平均 0.5尾
Xは欠測を示す

図4 昨年と今年のイカナゴ仔魚全長組成の比較

※グラフの縦軸は頻度 (%) を示す

